

# 山行報告書

報告書作成

2011年4月12日

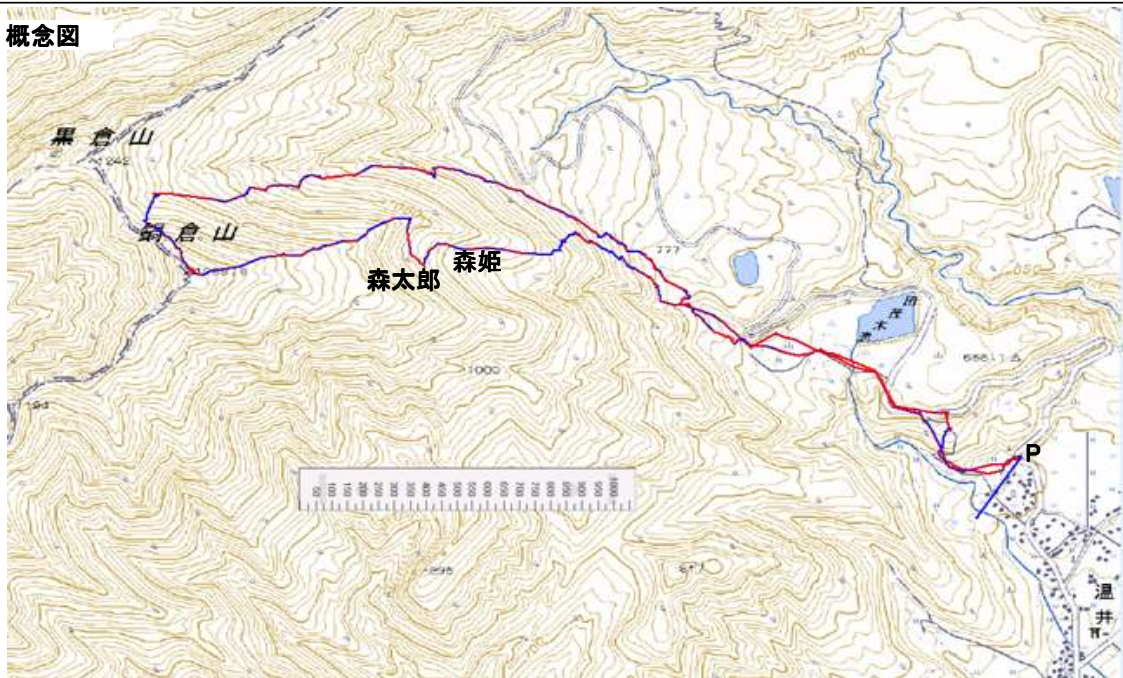
山名 [山域]	(斑尾山) 鍋倉山山スキー [上信越]	目的と方法	山スキーで春山を楽しむ
登山期間	2011年4月9日(土) ~ 4月10日(日)	山行形態	日帰り往復山スキー登滑降
参加人数	3名		

## 行動記録

4/9(土) 市川宅(5:35,5:45)==加藤宅(6:05,6:20)==岡崎IC(6:30)==恵那SA(7:30,8:00)==豊田飯山IC(9:30)==斑尾高原豊田スキー場(10:30,13:30)==まだらおの湯(14:30,16:00)==千曲川花の駅TS1(17:30,20:40消灯)

4/10(日) 千曲川花の駅(5:50起床,6:50)==温井登山口[550m]PKG(7:25,7:45)--小屋[700m](8:30,8:40)--尾根[926m](9:45,9:55)--森姫・森太郎(10:10,10:20)--**鍋倉山**山頂[1,288.8m](11:18,12:20)--大滑降--温井登山口P(13:30,13:45)==馬曲温泉 望郷の湯(14:30,15:30)==駒ヶ根SA(17:30,18:00) ==岡崎IC(19:50)==加藤宅(20:00,20:10)= 市川宅(20:30,20:40) == 西尾(21:10)

## 概念図



## 日誌

4/9(土) 雨のち夕方曇。雨天に係わらず午後から晴れることを期待し自宅を5時出発。IちゃんとKちゃんをピックアップし3名で岡崎ICから入る。雨のため慌てずゆっくり走る。豊田飯山ICを9:30ころ出て10:30斑尾高原豊田スキー場に到着した。しかしだれも人がいない、リフトも止まったまま、雨も止む気配もなくむしろ雨足が強くなってきた、相談し13:00までに雨が止めば斑尾山へ行くことを申し合わせたがついには止まず終いで山は中止。車で映画「2012」を真剣に観る。そして「まだらおの湯」500円に入りサッパリし、本日のテン場千曲川花の駅に向かう、途中Aコープであすの朝食と行動食を購入し、その後外食のうどんて腹を満たす。天気予報で明日の晴天を確信、早目に寝る[おやすみなさい]。

4/10(日) 霧のち快晴。AM4時ころ見回りのおまわりさんにさんが職質を受けている声がまどろみの中で聞こえてきましたが上手かわしているようなのでそのまま寝る。5:50分に起床、すし、ヌードル、ヨーグルト、パナナでエネルギーを蓄え、そして不要物をトイレで出す。濃い霧の中、道の駅を後に温井に向かう、30分ですっかり霧が取れ白い山頂の目指す鍋倉山も見え快晴になる、温井登山口に駐車場はなく雪の残る道端に静かに止めさせて頂く先客は4台いた。スキーにシールを貼り付け車の横からすぐにスキーをはいて西北西に向かい出発。シールが良く効くすっかり春のザラメ雪になった。田茂木池のあるだだっ広い湿原を気持ち良く快適にスキーを滑らすと小屋に着く、ここで休憩し長野上田市の上小山の会5名パーテーとお話する山スキー2人、スノーシュー2人、ツボ足1人でどの歩行具がこの雪で有効かを試しているそう。リーダーのWakaさんはもう12回も鍋倉山を登っているそうです。小屋を過ぎて少し行くと最初の急登がある、ここをジグザグに頑張って登りきれば、あとはゆるい斜面が山頂までつながっている。

感想 3月12.13日で予定していた鍋倉山が大地震で延期になり今年の山スキーはもう行けないかと思っておりましたがようやく4/10に登ることが出来嬉しく思います、雪は多く山頂で地元佐藤精工さんが6mあると言っていました、大地震の影響で地割れの様なクレバスを時々またいで登ります、途中森姫と森太郎の巨木に出会えました。森姫は3年位前に急に朽ちたそうで無残で可哀想でした、森太郎は元気で天高く枝を広げ我々を迎えてくれました。広い山頂はガイドツアーの団体を含め50人はいたようです。西ノ沢の下りはブナの原生林が調度良い間隔で立っていますのでどこでも気持ち良く滑ることが出来ました。何度でも行きたくなる山です。